

令和6年度 シラバス

()

学年	教科	科目	単位数	担当教員	展開	使用教科書	新編 言語文化		
1	国語	言語文化	2	村田有紀	必修・選択	副教材名	現代の国語学習ノート／国語便覧		
科目の目標		現代文・古文・漢文をバランス良く学習し、言葉と文化への理解を深める。							
学習の内容と進め方		プリントを用いた作業学習を中心に進める。							
学習の留意点		文学的文章に触れ、その中から自己を高めようとする意志を持って学ぶ。							
評価の観点	知識・技能	言葉の特徴や使い方、日本語の言語文化について理解を深めている。							
	思考・判断・表現	「読むこと」において、内容・構成・展開などを的確に捉え、作品の解釈を深めるとともに、物の見方、感じ方を深めている。							
	主体的に取り組む態度	生涯にわたって読書に親しむ態度を身につけ、自己を向上させる姿勢を持つようとしている。							
評価規準	知識・技能	A	Bを上回る状況を達成している。						
		B	テキストに用いられている語句の意味や表現技法、古文や漢文の基本的な文法を適切に理解している。						
		C	Bの状況に達成していない段階である。						
	思考・判断・表現	A	Bを上回る状況を達成している。						
		B	本文の叙述に即して内容を的確に理解し、登場人物の心情や行動を理解している。						
		C	Bの状況に達成していない段階である。						
	主体的に取り組む態度	A	Bを上回る状況を達成している。						
		B	作品世界に関心を持ち、筆者の意図を感じ取って作品を味わっている。						
		C	Bの状況に達成していない段階である。						
学期	月	予定時数	単元	具体的な学習内容	評価の観点			評価方法等	
一 学 期	4	5	○ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばが果たしている役割を理解する。 ・ことばを見つめ直し、語彙を増やす。 ・小説に親しむ。 ・登場人物の心情を理解し、展開の妙を味わう。 ・基本的な文語文法について知識を得る。 ・説話を読み、古文の文体に親しむ。 ・基本的な訓読のきまりについて知識を得る。 	○	○	○	観察・作業	
		0	○1 ことばと出会う						
		0							
	5	6	○2 表現を味わう			○	○	○	観察・作業
		0							
		0							
	6	8	●1 古文に親しむ			○	○	○	観察・作業
		0							
		0							
	7	8	★1 漢文に親しむ			○	○	○	観察・作業
		0							
		0							
小計		27							
二 学 期	8	3	○3 文化を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の特質について理解する。 ・日常生活の中に息づいている日本文化の特色や伝統について理解を深める。 ・現代にも大きな影響を与えている、筆者の人間観や自然観を理解する。 ・まとまった分量の漢文を読みこなす。 ・故事成語の成り立ちについて理解する。 ・作品の構成や人物の心情を理解する。 ・人間の持つ普遍性について興味を持つ。 ・現代にも大きな影響を与えている、孔子の思想について理解する。 		○	○	観察・作業	
		0							
		0							
	9	6	●2 随筆を楽しむ			○	○	○	観察・作業
		0							
		0							
	10	6	★2 現代に生きることば			○	○	○	作業
		0							
		0							
	11	10	○4 物語を受け継ぐ			○	○	○	観察・作業
		0							
		0							
12	5	★3 古人に学ぶ		○	○	○	観察・作業		
	0								
	0								
小計		30							
三 学 期	1	3	○5 ことばと生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの持つ力について考える。 ・独特の文体を読み味わう。 ・様々なジャンルの漢文に親しむ。 ・話の展開を追いながら、漢文の楽しさを味わう。 ・在原業平について理解する。 ・敬語法について理解する。 		○	○	観察・作業	
		0							
		5	★4 漢文を親しむ						
	2	0				○	○	○	観察・作業
		0							
		5	●3 物語の広がり						
	3	0				○	○	○	観察・作業
		0							
		0							
小計		13							
合計		70							